

2024年度 年次報告書



リンケージとは「つながっていること」を意味します

ごあいさつ

今年は夏の過酷な暑さと雨の少なさで野菜の育ちに影響がでて、キャベツも白菜もびっくりするほどお高い日が続きましたね。野菜がすくすく育つには、太陽と水と空気と地上地下のさまざまな生き物の力が必要ですね。

さて、人間に目を向けたとき、こどもたちがすくすく育つには何が必要なのでしょう。

褒めることが大事だ、とはよく聞くことです。

では、私たちはなぜこどもたちを褒めるのでしょうか。

こどもとの間に良い関係を築くためかもしれません。

経験が少ないこどもたちに、どのような行動が望ましいのか教えるためかもしれません。

そして、こどもたちの自己肯定感や自己効力感を育てるためかもしれません。

自己肯定感とは、自分がかげがえのない存在なんだ、この世界や社会にいていいんだという自分を肯定的にとらえる感情です。

自己効力感とは、自分はものごとをなしとげることができるんだという自分への信頼にも似た気持ちです。

自己肯定感や自己効力感が低いままだと、大人のいくら成功談を聞かされても、うまくいったやり方を教えられても、「きみならできるよ。がんばれ!」と励まされても、「そんなの自分には無理」と投げ出したい悲しい気持ちになってしまうことがあります。

私たち大人はこどもたちが安心して自分の居場所で過ごし、自分への信頼を育てるために、達成感を積めるように任せ、努力を認め、たまにはこどもの存在そのものを褒め、たまにはこどもが褒められると思っていないことを褒め、たまには褒められると思っていないタイミングで褒め、とびきりの笑顔で感謝することが必要かもしれません。

リンケージのスタッフ一同、学びを続ける所存です。

皆さまのご支援とご協力をあおぎたく、ここに謹んでごあいさつ申し上げます。

理事長 石川京子

たくさんの「わかった」を経験し、自己肯定感をそだてる

78名

利用実数
(児童発達支援)

183名

利用実数
(保育所等訪問支援)

■ 活動内容

園の集団活動でどう過ごしたらいいか戸惑っている子どもたちが安心して集団活動に参加したり、お友だちとのやりとりに自信を持てるよう、楽しい活動を通して集団活動に必要な「見る」「聞く」「参加する」「援助を申し出る」などの発達支援を行いました。

また、個別の発達支援では、お子さんひとりひとりの担任が太田ステージ評価を用いて認知発達の凸凹に合わせて教材を準備し、「わかる」ことを広げ、園での集団活動や小学校での学習の基礎となる力を積み重ねる支援を行いました。

また、今年度は子どもたちのニーズに合わせて、いつものそらまめクラス「ふつそらクラス」とにこそら「にこにこそらまめクラス」加え、でらそら「でらくすそらまめクラス」を新設しました。でらそらを始めるにあたり、子どもたちにひとりひとりに「6さいのおともだちだけのとくべつなクラス」のソーシャルストーリーをお渡ししました。

ソーシャルストーリーとコミック会話は自閉スペクトラムのあるお子さんがこれから起こることや今不安なこと、困っていることを知るためのサポートツールとして子どもたちにも好評です。



■ 次年度予定

引き続き、個別の発達支援クラスと小集団の発達支援クラスをベースに子どもたちが毎日生活している幼稚園や保育園、こども園への訪問を継続し、ご家族や園の先生方と一緒に子どもたちの得意を活かし、苦手をサポートする発達支援に取り組みたいと思います。

明日につながる力を育てよう！

85人

利用登録人数

2926人

延べ利用人数
(2月末)

85%

満足度
(保護者様アンケート結果より)

■ 活動内容（月～金）

今年度も「そらまめ、そらまめ2」の活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。私たちは、お子さまが安心して周囲の環境や人に信頼を持てるよう、温かく寄り添いながら関わることを大切にしています。

そらまめでは、一人ひとりとの信頼関係を築き、自己肯定感を育むことで、自分らしくのびのびと成長できる環境を提供することを目指しています。お子さまが不安を感じた際には、スタッフが寄り添い、丁寧にサポートを行うことで、安定した環境の中で気持ちを落ち着かせる力を育みます。また、自分自身の感情や体の状態に気づき、それをコントロールしやすくなるよう支援しています。心理学的なりフレーミングを活用し、困難を「新しい挑戦」「成長のチャンス」として捉えられるよう導き、自己受容を促しながら前向きに取り組む力を育てています。さらに、感覚・運動遊びから見立て遊び、ごっこ遊びへと発展させることで、想像力や社会性を豊かに育むとともに、一人ひとりの「得意なこと」「苦手なこと」に寄り添いながら工夫を重ね、成長できる機会を提供しています。気持ちの調整方法を学び、状況に応じた行動ができるよう支援するとともに、ルールの理解を深め、協力しながら取り組む力を養成しています。お友だちとの関わりを大切にしながら相互理解を深め、温かい関係を築けるよう支援し、困難に直面した際には「失敗＝成長の機会」と捉え、前向きに乗り越える力を育成しています。

来年度の予定

来年度も、お子さま一人ひとりの個性を大切にしながら、安心できる環境の中で、『明日へとつながる大切な力』を育ててまいります。引き続き、皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

■ 土曜日ソーシャルスキルクラブ

2月22日ラウンドワンのボウリングに行きました。

初めてボウリングをする子どもたちが多くどうなることかと思いましたが、あるお子さんは初めてスペア・ストライクを取ったことでやる気が湧いたようでその後2ゲーム投げ切りました。またある子は自分が投げなくても他の子を応援するスタイルがとれていました。

苦手意識や初めての経験に抵抗があっても一度やってみることで楽しさを知り経験したことで「またやってみよう」と思える子供たちの成長が見られた気がしました。

今後もこのような活動を提供していきたいと思っております。



就労準備性を高める支援と就労後の職場定着支援を提供

16人

利用実数

1736人

延べ利用者数

100%

今年度就労定着支援利用者の
定着率

■ 全体の支援

2/14に就労移行支援事業説明会をおこないました
リンケージの就労移行支援についてもっと皆さんに知っていただこうと、説明会を実施しました。高校通級支援の担当の先生、高校や大学の先生方、ハローワークの職員の方々、就業・生活支援センターの職員の方、移行支援を検討中のご本人など10名を超える方々にお越しいただきました。リンケージの事業やプログラム説明の後は、それぞれのお立場から感じている疑問などについて質疑・意見交換の時間を取らせていただきました。皆様大変興味を持ってくださり、たくさんの質問をいただきました。今後もこのような機会を作っていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願い致します。

■ 作業トレーニング

今年もさまざまな作業トレーニングをおこないました
リンケージの就労移行支援では、事務作業からものづくりまで様々なタイプの作業をそろえて特性のアセスメントをおこなっています。今年度もトレーニング生はいろいろな作業に挑戦して頑張っていました。自分の苦手なものも得意なものも、まずやってみて、自分が仕事を選ぶときのヒントにしていこうと考え、取り組んでもらっています。次年度はさらに、企業につなげるときに役に立つような作業を広げていき、より実践的で役に立つ作業トレーニングを目指していきたいと思えます。



■ 就職支援・就労定着支援

リンケージ卒業生の進路と支援について

今年もリンケージからトレーニング生が卒業していきました。一般企業・特例子会社等の企業への就職から、就労継続A型・B型事業所に進路を決める方もいます。リンケージでさまざまな経験を積み、それぞれの方が、今の自分に合う働き方・環境を主体的に選んでいく姿を見ていつも感慨深く見送ります。また、企業への就職となった方にはそこから定着支援がスタートします。リンケージが就労後の安心のお守りとなったり、困った時のサポート役となったりできるように、次年度もスタッフ一丸となって頑張っていきたいと思えます。

福祉サービスのご利用や変更に関するお手伝い

262人

登録人数
(令和7年3月 現在)

753件

計画等作成件数
(サービス等利用計画および
モニタリング報告書 作成件数)

■ 活動内容

今年度は、引き続き相談員が4名体制でみなさまからのご相談をお受けさせていただきました。うち、相談員の山口が今年度、相談支援専門員の資格を取得しております。一年を通じて円滑に業務が進めてこられたのは、みなさまの温かいご理解とご協力があったることと感じております。あらためまして、こころより感謝申し上げます。

さて、あらためて日々の生活に目を向けてみると、コロナ禍が明けて過去のことになろうとしつつも、感染症等には日々気をつけなければならず、また、様々な社会不安にも気持ちを揺り動かされる毎日ではないでしょうか。

そんな中であらたな年度を迎え、園や学校、職業、地域、そして家庭と、それぞれのあたらしい生活がはじまっていようかと思えます。日々の生活の中で先々の見通しが立たなければ“不安”が生じ、その不安が続く中で思いどおりにならないことが重なれば“不満”も生じることと思えます。

そんなときは、わたしたち相談員の存在を思い出してください。そしてまず一度、ご連絡をいただけると嬉しいです。ご相談いただいたとき、わたしたちは明確な“答え”を持っていないかもしれませんが、でも、みなさんと一緒に考えることはできます。わたしたちは、みなさんのあたらしい生活が希望で満たされることを願っております。そのお手伝いをさせていただきます。

■ 次年度予定

次年度も引き続き、高崎地域において障害に関わる相談業務の中心的な役割が担えるよう取り組んでまいります。また今年度より、県内の相談支援専門員の人材育成にも携わってまいります。これからも、みなさまにとってより生活しやすい地域づくりの視点を持ち、その責務を果たしていきたいと思えます。

また、みなさまからの相談により柔軟にご対応させていただけるよう、業務の効率化と人員体制の充実を図り、また、相談員一人ひとりのスキルアップにも取り組んでいきたいと思えます。引き続き、みなさまにとってもっと便利に、相談支援をご活用いただけるよう努力してまいります。

誰もがお互いの違いを知り、
自分らしく暮らしていけることを願って。

66件

講演会・研修会

45件園・学校・支援機関等への
コンサルティング、スーパーバイズ

■ 活動内容

- ・群馬県発達障害者地域支援マネージャーとして、各自治体や福祉サービス事業所、園や学校の職員向けに発達障害に関する講演会、アセスメントや支援ツールの導入、関係機関の連携や困難事例への対応等を実施しました。
 - ・群馬県教育委員会専門家チーム委員として、県立特別支援学校に配属されている専門アドバイザーからの依頼を受けて、園・学校へ直接訪問して、困難事例など教員等の相談に応じました。
 - ・園訪問コンサル事業として、1年を通して定期的に8カ所の園に訪問し、保育士や先生方へ特性のあるお子さんへの対応方法やお部屋の整備の助言を行い、希望に応じてご家族相談などを行いました。
 - ・発達障害相談支援サポーターとして、高崎地域における発達障害者への相談支援を行い、相談支援専門員や行政職員向けには研修会を行いました。
- 他、公職として群馬県教育委員、群馬県青少年健全育成審議会委員、群馬県発達障害者支援地域協議会委員などの役割を通して、発達障害に関する啓蒙活動に努めました。

■ 今後の活動

引き続き、講演会や研修会、園や学校へのスーパーバイズ、公職活動を通して、発達障がいの啓蒙活動に取り組みたいと思います。

発行日 2025年4月1日 第一版発行

発行元 NPO法人リンケージ
群馬県高崎市江木町 979 - 3
TEL : 027 - 345 - 7390
FAX : 027 - 345 - 7391
<http://www.npo-linkage.net/>